

(10)狭心症に使用されるインド産フリーラジカル除去剤アマリット4およびアマリット5はプラシーボにすぎないのか？

#### 文献名

Journal of the Association of Physicians of India, Vol.42, No.6, pp.466-467, 1994.

#### 著者

J.Dogra,\* N. Grover,\* P. Kumar,\* and N. Aneja.\*\*

#### 実施場所

\* Department of Medicine, C.G.H.S., Jaipur, India (C . G . H . S、医学部、インド、ジャイプール)

\*\*SMS Medical College, Jaipur, India ( S M S 医科大学、インド、ジャイプール)

#### 要約

アマリット(アマリット4およびアマリット5)の狭心症に対する効果を研究するために30人の患者を評価した。狭心症発作の1カ月当たりの平均回数は8.87であった。

被験者全員について、リード線12本で測定したECG、コンピュータ処理したTMTおよびエコーに基づく研究を、開始時、6カ月目、および2年後に行った。被験者は6カ月間にわたって毎日、アマリット4のペースト10グラムを2回に分けて服用し、それぞれにアマリット5のタブレット一錠もあわせて服用した。倫理的見地から血管拡張薬と抗高血圧薬の投与は継続した。全患者30人のうち24人(80%)が治療6カ月後に症状の有意な改善を報告した。狭心症発作の一カ月当たりの平均回数は8.87から3.03に改善された( $p < 0.001$ )。患者全員が健康状態の良好感を報告した。11人の高血圧患者のうち5人が収縮期血圧の低下を報告した。脂質検査は高比重リポ蛋白(HDL)の統計的に有意な増加を示した。治療6カ月後に10人の患者(33.33%)に運動許容度の改善が認められ、この効果は2年後にも維持された。ECGおよびエコーに基づいた研究は結論が出るまでに至らなかった。副作用または薬物間相互作用は認められなかった。この治療において認められた有益な効果は、アマリット4およびアマリット5のフリーラジカル除去特性が活性酸素種(ROS)に作用した結果、または脂質の過酸化作用を抑制する作用の結果、または血小板凝集を抑制する作用の結果、あるいは、それらがすべて相乗的に作用した結果であると考えられる。